

フランスの核戦力一覧¹⁾

2013年8月1日現在

名称	核弾頭の種類	核弾頭の威力 (キロトン)	核弾頭数	備考
作戦配備			290	
潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM) ²⁾			240	
MSBS M45 ³⁾	TN75	100	160	4)
MSBS M51 ³⁾	TN75	100	80	4)
爆撃機など航空機搭載			50	
爆撃機搭載 ASMPA ⁵⁾	TNA	可変~300	40	6)
空母艦載機用 ASPMA ⁷⁾	TNA	可変~300	10	8)
作戦外貯蔵			~10	9)
SLBM			~5	
爆撃機など航空機搭載			~5	
退役・解体待ちなど			~	9)
全保有量			300	

【脚注】

- 「300弾頭以下に削減する」とサルコジ大統領が発表（2008年3月21日）（Sarkozy, Nicolas M. 2008.03）。その後2012年の核不拡散条約（NPT）再検討準備委員会で削減が完了したと発表（Head of French Delegation 2012）。年間約46万ドルを核戦力に消費。
- 4隻のトリオンファン級(*)原子力潜水艦（SSBN）：トリオンファン、テメレール、ビジラン、テリブルに搭載。うち少なくとも2隻が完全作戦体制にあり、そのうちの1隻が抑止パトロール（約10ヶ月）に就いている。基地はプレスト近くのロング島（Ile Longue）という半島（Kristensen, Hans M. 2012）。
*【トリオンファン級】前型最後のSSBNアンフレキシブルは2008年1月に退役（Norris, Robert S. & Kristensen, Hans M. 2008）。2010年9月20日、テリブルが就航し4隻体制になった。16基のミサイル発射管を装備する。
- MSBS=Mer-Sol Balistique Strategiqueの頭文字。フランス語で「艦対地戦略弾道ミサイル」。旧型M45から射程が長く、搭載重量が大きく、精度も高い新型M51への転換中。テリブル以外はM45を搭載。テリブルのみM51（現在のバージョンは51.1と名付けられる）を搭載、その発射実験は2010年1月27日、7月10日に発射テスト。転換はビジラン、トリオンファン、テメレールの順に行われる予定。しかし、2013年5月5日、ビジランからの発射実験に失敗（Collin, Jean-Marie 2013）。M45もM51.1も熱核弾頭TN75(*)を装着。2015年からTN75がTNO（Tete Nucleaire Oceanique、海洋型核弾頭）になり、ミサイルはM51.2に置き換わる予定。
*【TN75】フランスが1995~96年、ムルロアで行った最後の核実験で実証実験が行われた熱核弾頭。TNはフランス語の核弾頭（Tete Nucleaire）の頭文字。2015年からTNOに置きかえられてゆく予定。
- M45、M51のどちらのミサイルも区別なく、同じ数の多弾頭政策で運用されていると考えられる（Norris, Robert S. & Kristensen, Hans M. 2008）。4隻のうち3隻に交替で弾頭が装備される運用体制と考えられ、3隻x16発射管x(4-6) MIRVと弾頭数が計算される。平均すると5発の多弾頭運用となる。
- ASMPA=Air-Sol Moyenne Portee Amelioreの頭文字。フランス語で「空対地中距離改良型」。射程500kmの巡航ミサイル。弾頭はTNA（Tete Nucleaire Aeroporteeの頭文字。航空核弾頭）
- 2種類の戦闘爆撃機ミラージュ2000N(*)、ラファールF3(*)各20機に搭載。1機あたり1弾頭。（Kristensen, Hans M. 2012）
*【ミラージュ2000N】1998年に作戦配備。2009年にASMPAAを装備。航続距離2,750km。（Kristensen, Hans M. 2012）
*【ラファールF3】2008年に作戦配備。2010年にASMPAを装備。航続距離2,000km。（Kristensen, Hans M. 2012）
- フランスが持つ唯一の空母シャルル・ドゴール（R92、原子力推進）の艦載機ラファールMF3(*)（MK3との記述もある（Norris, Robert S. & Kristensen, Hans M. 2008））の10機が核任務をもつ。以前はシュペール・エタンダールがこの核任務を担っていたが、ラファールMF3にとって代わられた。前者は2015~2017年に退役予定（Kristensen, Hans M. 2012）。
*【ラファールMF3】2010年に作戦配備。2011年にASMPA装備。航続距離200km。（Kristensen, Hans M. 2012）
- 空母シャルル・ドゴールには、平時において核兵器は搭載されていない。艦載機ラファールMF3に搭載のためのASMPAは陸上基地（おそらくイストレ（Istres）航空基地）に貯蔵されている。（Kristensen, Hans M. 2012）
- サルコジ大統領の発表では、「作戦用以外の保有核兵器はない」と述べたが、米国の「即応核戦力」のような目的で非配備の予備核兵器をもっていない、という趣旨と思われる。実際には核弾頭の維持サイクルの中で、作戦貯蔵にはない、新しい弾頭、修理中の弾頭、解体を待っている弾頭などが少数であると推定される。（Kristensen, Hans M. 2012）

【出典】

- Collin, Jean-Marie 2013: "The M51 missile failure: where does this leave French nuclear modernization?," BASIC Blog, June 27, 2013
[http://www.basicint.org/blogs/2013/06/m51-missile-failure-where-does-leave-french-nuclear-modernization\(2013.7.10](http://www.basicint.org/blogs/2013/06/m51-missile-failure-where-does-leave-french-nuclear-modernization(2013.7.10) アクセス)
- Head of French Delegation 2012: "Statement by the Head of French Delegation at First Session of the Preparatory Committee for the 2015 NPT Review Conference," May 3, 2012
http://www.reachingcriticalwill.org/images/documents/Disarmament-fora/npt/prepcom12/statements/3May_France.pdf (2013.7.10 アクセス)
- Kristensen, Hans 2012: Section 'Modernization in France,' "Assuring Destruction Forever: Nuclear Weapon Modernization around the World" edited by Ray Acheson, 2012, Reaching Critical Will
- Kristensen, Hans M. 2013-1: "Status of World Nuclear Forces Early-2013," FAS Nuclear Information Project
<http://www.fas.org/programs/ssp/nukes/nuclearweapons/nukestatus.html> (2013.7.10 アクセス)
- Norris, Robert S. & Kristensen, Hans M. 2008: "French nuclear forces, 2008," *Bulletin of the Atomic Scientists*, September/October, 2008
- Sarkozy, Nicolas M. 2008: English version: "Presentation of SSBM 'Le Terrible' – Speech by M. Nicolas Sarkozy, President of the Republic," 21 March 2008
<http://www.ambafrence-uk.org/President-Sarkozy-s-speech-at,10430.html> (2013.7.10 アクセス)。抄訳：「ニコラ・サルコジ共和国大統領の演説」、イブック：核軍縮・平和2008（監修：梅林宏道、NPO法人ピースデポ）pp.250-252